平成21年　漢方薬･生薬研修会　試験問題

問１　次の文の(【1】)～（　【5】　）に最も良く当てはまる語を各選択肢（a）～(c)の中から選び記号で答えよ。

1)　「神農本草経」は、中国の(【1】)の時代に成立したとされるが、そこには 365 種の薬物が収載されている。

(a) 後漢(1～2 世紀)　　(b) 秦　　(c) 唐

2）別名「唐本草」ともいわれる（　【２】　）は西暦 659 年、蘇敬らにより著された勅撰本草であり、仁和寺に写本の一部が残されている。

(a) 名医別録　　(b) 新修本草　　(c) 図経本草

3) 宋代の 1108 年に編纂された(【3】)は、完全な形で現存し、図版も優れ、印刷も鮮明で、文献的な価値が高い。

(a) 神農本草経集注　　(b) 山海経　　(c) 経史証類大観本草

4) 明の時代の 1596 年に(【4】)が著わした「本草綱目」には、およそ 1,900 種の薬物が収載されており、我が国の江戸時代以降の本草学に大きな影響を与えた。

(a) 陳臓器　　(b) 李時珍　　(c) 陶弘景

5) 貝原益軒は、「本草綱目」所載の薬物と我が国の民間薬とをあわせた「大和本草」を作り、更に、(【5】)を著わした。

(a) 解体新書　　(b) 本草綱目啓蒙　　(c) 養生訓

答

【1】a　【2】b　　【3】c　　【4】b　　【5】c

問2　A 欄に漢方薬の類別、B欄に漢方処方名が示されている。B欄の中でA欄の類別に対応しない処方はどれか。記号で答えよ。

（A）　類別	（B）　処方群	（C）対応しない処方
[駆瘀血剤]	[ａ 当帰芍薬散、ｂ 桂枝茯苓丸、ｃ 小柴胡湯]	（ 【6】 ）
[気剤]	[ａ 香蘇散、ｂ 四物湯、ｃ 半夏厚朴湯]	（ 【7】 ）
[水毒に用いる処方]	[ａ 大柴胡湯、ｂ 防已黄耆湯、ｃ 五苓散]	（ 【8】 ）
[麻黄剤]	[ａ 葛根湯、ｂ 小青竜湯、ｃ 甘草湯]	（ 【9】 ）
[胸脇苦満に用いる処方]	[ａ 小建中湯、ｂ 大柴胡湯、ｃ 柴胡桂枝湯]	（ 【10】 ）

答

【6】 c　【7】 b　【8】 a　【9】 c　【10】 a

問3　1)～5)は漢方処方とその使い方の組み合わせを示す。(【11】)～(【15】)に最も適当と思われる処方名を(a)～(e)から選んで記号で答えよ。ただし処方名は重複して用いないものとする。

1) (【11】)－　気管支喘息の寛解期に使用する
2) (【12】)－　ストレス性胃痛に使用する
3) (【13】)－　気分がふさいで,「のどもとに何かつかえるようだ」と訴える人に使用する
4) (【14】)－　無菌性膀胱炎や尿路不定愁訴に使用する
5) (【15】)－　急性の腹痛・腰痛・筋肉痛・吃逆などに頓服として使用する

a) 安中散　b) 柴朴湯　c) 芍薬甘草湯　d) 清心蓮子飲　e) 半夏厚朴湯

答　【11】b　【12】a　【13】 e　【14】d　【15】c

問4　次の文を読み下記の問いに答えよ。

逍遙散は下の8種類の生薬で構成されている

(1)当帰　(2)芍薬　(3)白朮　(4)茯苓

(5)柴胡　(6)甘草　(7)生姜　(8)薄荷葉

構成生薬に関する設問に答えよ。

1) トリテルペン配糖体を主要特異成分とする生薬を二つ選び番号で答えよ。【16】

2) 精油を主要特異成分とする生薬を四つ選び番号で答えよ。【17】

3) 根を使用部位とする生薬をすべて選び番号で答えよ。【18】

4) 根茎を使用部位とする生薬をすべて選び番号で答えよ。【19】

5) セリ科植物を起源とする生薬をすべて選び番号で答えよ。　【20】

答　【16】(5)、(6)　【17】(1),(3),(7),(8)

【18】(1), (2), (5), (6)　【19】(3), (6), (7)

【20】(1), (5)

問5　1)～4)は日本薬局方生薬の確認試験、薄層クロマトグラフィー法に用いられる化合物と、対応する生薬の生薬名(A)，基原植物名(B)，薬用部位(C)を示す。空欄に入れるのに最も適当な語句一つを、対応する語群の中から選んで解答欄に記号で書け。

化合物名	生薬名（A）	基原植物名（B）	薬用部位（C）
1）ゲニポシド	（【21】）	（【22】）	（【23】）
2）バイカリン	（【24】）	（【25】）	（【26】）
3）アミグダリン	（【27】）	（【28】）	（【29】）
4）ベルベリン塩化物	（【30】）	（【31】）	（【32】）

語群

生薬名（A）　a）オウゴン　b）ショウキョウ　c）トウニン　d）サンシシ　e）オウバク

基原植物名（B）　ア）クチナシ　イ）コガネバナ　ウ）ショウガ　エ）キハダ　オ）モモ

薬用部位（C）　1）果実　2）根茎　3）種子　4）樹皮　5）根

答

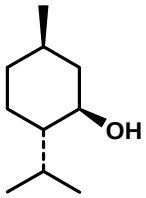
【21】d　【22】ア　【23】1

【24】a　【25】イ　【26】5

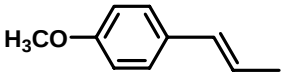
【27】c　【28】オ　【29】3

【30】e　【31】エ　【32】4

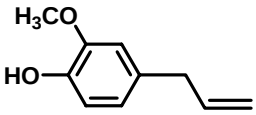
問6　生薬含有精油成分(A), (B), (C), (D)について，1）化合物名、2）含有生薬名をそれぞれの語群から選び、記号で答えよ。



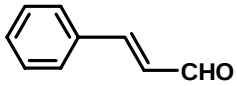
A



B



C



D

語句群

1）化合物名

a) eugenol　b) anethole　c) cinnamaldehyde　d) (-)-menthol

2）含有生薬名

ア）ウイキョウ　イ）ケイヒ　ウ）ハッカ　エ）チョウジ

A ：　化合物名　【33】　生薬名　【34】

B ：　化合物名　【35】　生薬名　【36】

C ：　化合物名　【37】　生薬名　【38】

D ：　化合物名　【39】　生薬名　【40】

答　【33】 d　【34】 ウ　【35】 b　【36】 ア　【37】 a

【38】 エ　【39】 c　【40】 イ

問7　次の生薬に関する記述中、【41】～【50】に入れるのに最も適した語句を語句群から選びその記号を解答欄に記せ。

1) オタネニンジンの根を乾燥したものを(【41】)、軽く湯通しした後に乾燥したものを(【42】)、蒸した後に乾燥したものを(【43】)と呼ぶ。(【43】)への修治によって(【44】)類などのサポニンに、脱アシル化や加水分解が生じている。

2) ハナトリカブト類の子根を修治したものを(【45】)と呼び、修治によって(【46】)などの猛毒性アルカロイド含量が減少している。

3) ショウガの根茎を乾燥したものを(【47】)、修治したものを(【48】)と呼び、修治によって辛味成分の(【49】)類が減少し、(【50】)類が増加している。

語句群

a) 紅参	b) 生干人参	c) 御種人参	d) 党参
e) 三七人参	f) 炮附子	g) 香附子	h) 川烏頭
i) 生姜	j) 乾姜	k) 姜黄	l) gingerol
m) malonyl-ginsenoside		n) shogaol	
o) aconitine	p) astragaloside	q) arecoline	

答

【41】 b	【42】 c	【43】 a	【44】 m
【45】 f	【46】 o	【47】 i	【48】 j
【49】 l	【50】 n		

問8　第十五改正日本薬局方に漢方処方エキスが収載されている。収載されることの意義に関して考えを述べよ。(20～50字程度)。【51】

解答例

【51】

○　漢方処方が化学薬品と同等に評価されるようになった。（２５字）
○　漢方処方の品質が保持されることになった。（２０字）
○　漢方処方エキスの規格が示され、化学薬品と並ぶ医薬品としての品質判断基準が明確になった。（４４字）
○　画期的な一歩であるが重要な漢方処方エキスが多数未収載である。何故収載されていないのか疑問が残る。（４９字）
○　等　等

問9　別紙に植物の写真が5枚と、生薬の写真が5枚ある。写真1(【52】)、写真2(【53】)、写真3(【54】)、写真4(【55】)、写真5(【56】)について植物名、写真6(【57】)、写真7(【58】)、写真8(【59】)、写真9(【60】)、写真10(【61】)について生薬名を、それぞれの語群から選び解答欄に記号で書け。

植物名群

(あ)　マオウ　　(い)　シャクヤク　　(う)チョウセンゴミシ
(え)　ウスバサイシン　　(お)　カンゾウ

生薬名群

(a)甘草　　(b)五味子　　(c)細辛　　(d)芍薬　　(e)麻黄

答

【52】(写真1)　お(カンゾウ)　　【53】(写真2)　う(チョウセンゴミシ)
【54】(写真3)　え(ウスバサイシン)　【55】(写真4)　い(シャクヤク)
【56】(写真5)　あ(マオウ)　　【57】(写真6) e(麻黄)
【58】(写真7) b(五味子)　　【59】(写真8) c(細辛)
【60】(写真9) a(甘草)　　【61】(写真10) d(芍薬)

植物の写真

写真　1

写真　2

写真　3

写真　4

写真　5

生薬の写真

写真　6

写真　7

写真　8

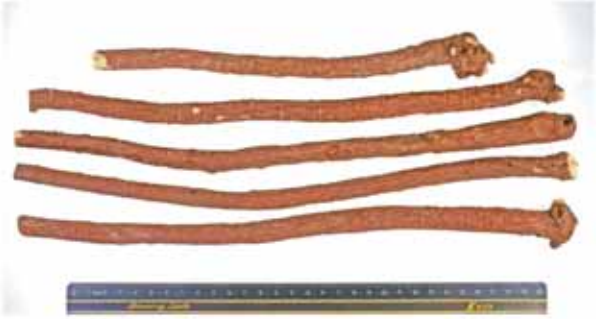


写真　9

写真　10